

下関市入札監視委員会（第5回）審議概要

開催日時	平成18年2月21日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 中谷正行（弁護士） 山元太志（公認会計士）		
審議対象期間	平成17年10月1日 ~ 平成17年12月31日		
審議対象総件数	262件	（抽出工事名称）	
抽出案件	条件付一般競争入札	163件	下関市立大学体育館新築主体工事
	指名競争入札	70件	農地等高度利用促進事業 吉田北地区農道舗装工事
	随意契約	29件	平成17年度奥山工場 180t炉溶融炉定期整備工事（2期）
指名停止等の運用状況	3件9社		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見・質問	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p>「入札方式別発注工事総括表及び一覧表（報告）」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 指名競争入札の件数が前年同時期と比較して減っている（10件の減少）理由は何かあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 第3四半期として特に減少要因はないと考えている。
<p>「下関市立大学体育館新築主体工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 体育館新築全体ではどのくらいかかるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 約10億円となる。
<ul style="list-style-type: none"> 請負金額1億5千万円以上の建築一式の公共工事の実績を持つ市内業者は何社か。 	<ul style="list-style-type: none"> 9社で、1億円以上だと15社になる。本件については、7、8組の共同企業体を想定した。
<ul style="list-style-type: none"> 落札率が100に近いことはどう分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 落札率によって競争性の判断をしていない。適正な積算に基づく結果と考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 構成員に係る入札条件で旧市業者は総合評点850点，旧町業者は総合評定値750点となっているが，なぜ違うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧市業者は工事成績等を反映した主観点数を加算しているが，旧町業者には合併前の工事成績等を反映できないため総合評定値のみで条件設定している。これにより，地域性等を考慮して100～250点の差を設けて運用している。

<ul style="list-style-type: none"> 旧市業者と旧町業者に差を設ける運用はいつまで続けるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 18年度も引き続き実施する。旧町業者に概ね工事成績評点がつくまでと考えているが、18年度の結果を見て19年度については判断する。
<p>「農地等高度利用促進事業 吉田北地区 農道舗装工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 本件入札に指名した6社の選定はどのように判断したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装を主たる業務としている業者は10数社あり、その中からそれまでの指名実績等を考慮した。特定業者に指名が偏らないようにしている。
<ul style="list-style-type: none"> まったく指名されない業者もあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 主たる業務ではない工種について指名がないこともある。
<p>「平成17年度奥山工場180t炉溶融炉定期整備工事(2期)」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> いわゆるメンテナンスを行う工事か。 	<ul style="list-style-type: none"> そのとおり。他業者ではなかなかできないと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 設計額は、市が設計した価格か。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に参考見積を取り、市でそれをもとに設計基準に当てはめて設計した。全般的に人役、単価等を計算し直したものである。